



# 常磐会報

第47号  
平成28年12月12日

発行所  
福岡県行橋市南大橋4-5-1  
京都高等学校常磐会  
印刷・デザイン  
(株)サラト



## 目次

創立100周年特集 .....	2~3
ごあいさつ .....	4
平成28年度常磐会総会を終えて .....	5
進路概況 .....	6
部活動状況 .....	6
定時制近況報告 .....	6
恩師からのおたより .....	7
新世紀 .....	8



# 年の想い～そして未来へ



ワンだふる

みゃこん



京都高校創立100周年キャラクター

創立100周年記念式典

# 祝 創立100周年

# 繋げよう！100

Saiyaka  
high  
school

# 100<sup>TH</sup> ANNIVERSARY

京都高等学校創立百周年



創立100周年記念講演会 野本弘文氏 「夢、そして志」



創立100周年記念演奏会



創立100周年記念祝賀会



## ごあいさつ

常磐会会長 若山直樹

(高校22回生)

常磐会会員の皆様には、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

いよいよ本年、母校京都高校は創立100周年という輝かしい記念の年を迎えました。

会員の皆様にはかねてより、100周年記念事業への募金協力をお願い致しておりましたが、多くの会員の皆様からご賛同の募金を賜りました。あらためて常磐会の強い絆を感じているところです。ご協力誠にありがとうございます。厚くお礼を申し上げます。皆様方のご厚志は、在校生はもとより、将来入学してくる生徒の教育環境の充実や、国際交流活動の推進に役立てるよう、大切に使用させていただきます。

また、創立100周年記念式典、祝賀会は本年10月末に行われます。常磐会会員皆で、母校の100年に思いを馳せともに喜び合いますよう。

さて、この母校100周年という節目の年の総会実行委員は、昭和59年卒業の高校36回生、定時23回生、平成9年卒業の高校49回生、平成21年卒業の高校61回生の皆様です。高城喜典実行委員長を中心にしつかりと準備を進めてこられました。100周年事業の募

金活動と並行しての資金集めは大変であったものと思います。実行委員の皆様のご労苦にあらためてお礼を申し上げます。ありがとうございます。また、広告協賛に快くご協力を頂いた皆様、まことにありがとうございます。皆様からのご厚意は今年度総会の運営を始め、常磐会からの現役生への援助にと大切に使用させて頂いています。ありがとうございます。

この100年の悠久の間、紡がれてきた歴史と伝統は、我々常磐会員の大きな自信と誇りになります。卒業会員総数も3万名を超えます。100周年の意義を深くかみしめながら大いに祝いたいと思います。

最後に本年度常磐会総会の大盛會と母校100周年事業の大成を祈念して私のごあいさつと致します。



## ごあいさつ

学校長 田中浩子

常磐会の皆様には、日頃から本校の教育活動に物心両面からのご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

このたびの人事異動で、丸内毅前校長が県教育委員会教職員課人事管理主事として転出され、その後任として門司学園中学校高等学校から着任してまいりました田中浩子と申します。平成24年度には教頭として勤務し、常磐会の皆様には大変お世話になりました。学校創立百周年となる節目の年に再び赴任できた喜びと責任を噛みしめ、京都高校の輝かしい歴史と伝統を受け継ぐとともに、新たな伝統を築き上げるべく邁進してまいりますので、どうぞよろしく願います。併せて、全日制には県教育委員会高校教育課から同窓生でもある白川英治教頭が、定時制教頭には小倉西高校から月森真一郎教頭が赴任いたしました。全日制・

定時制ともに、生徒の人格形成に努め、社会の要請に応え活躍できる有為な人材の育成に尽力する所存でございます。

さて、学校創立百周年に向けては数年前から常磐会若山会長を実行委員長として、記念式典および様々な記念事業を計画実施してまいりました。常磐会の皆様からも、教育活動の充実のた

めに募金をはじめ多大なるご高配を賜りましたことに深謝いたします。また大変お忙しい中、18回生の東京急行電鉄(株)取締役社長野本弘文様には記念講演を、29回生のギターリスト吉田次郎様には記念演奏を快諾いただきました。10月29日(土)の記念式典には県知事小川洋様を始め多くのご来賓の方々にご臨席を賜り、皆様のご期待に応えるべく、京都高校生徒の気鋭あふれる姿をご高覧いただきたいと思います。

さらに、昨年度文部科学省から5年間の指定を受けて始まったスーパーグローバルハイスクール(SGH)も2年目となり、京都大学や地域の方々のご指導をいただいでさらに内容の充実を図っております。今後も全職員で力を合わせ、百年の歴史ある伝統校として質の高い教育を提供し、かつ生徒が勉強や部活動および学校行事に主体的、積極的に取り組むことができる教育環境づくりに努めてまいります。

おわりに、常磐会の皆様のますますのご健勝とご活躍を心から祈念しますとともに、母校の教育活動に対しまして変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。現状報告とさせていただきます。

# 平成28年度 常磐会総会を終えて

実行委員長 高城 喜典（高校36回生）

2016年度常磐会実行委員長の高校36回生の高城喜典です。実行委員を代表しましてご挨拶申し上げます。

常磐会は福岡県立京都高等女学校、福岡県立京都高校の同窓会であり、会員相互の親睦・懇親を図ること、母校の発展に寄与することを目的として活動しています。毎年9月頃に常磐会総会・懇親会および記念イベントとして講演会や落語、演奏会やスポーツ大会などが開催されて来ましたが、これはひとえに各当番回生のご尽力と常磐会役員の方々の指導の賜物であり、脈々と受け継がれてきた伝統に敬意を表する次第です。

さて今年度はご承知のとおり、福岡県立京都高校は創立100周年にあたります。記念イベントは100周年にふさわしい

ゲストとしてプロ野球 讀賣巨人軍↓MLBピッツバーグ・パイレーツで投手として活躍された桑田真澄氏に講演会をお願いしています。野球に対する真摯な姿勢や深い考察の持ち主である桑田さんの講演は必ず興味深いものと期待しています。

我々36回生は昭和56年4月に入学、昭和59年3月に京都高校を卒業しました。時代はバブル前後であり、行橋をはじめ、京築地域も活気にあふれていました。あれから四半世紀以上が経ち、町の様子も人の流れも様変わっています。しかし我々が通った京都高校は今も同じ場所であり、京築地区の子どもたちが学年ごとに異なる三色（赤・緑・青）のバッグを抱えて通っています。おそらく当時の我々と同じような夢や希望、悩みを抱えて高校生活を送っているこ

とでしょう。逆に我々が高校生だった頃の当番回生の先輩方も現在の我々と同じように常磐会総会、懇親会の準備に腐心されていたのだと思います。常磐会実行委員長を務めるにあたり、創立100年を迎える学校の同窓会の伝統を改めて感じた次第です。今回、実行委員として、忙しい中多くの同級生である36回生、49回生、61回生、定時23回生が協力してくれました。このことを楽しんでやろうと言って来ましたが、もしかしたら一番楽しんだのは実行委員長である私かもしれません。実際、常磐会活動を通じて高校卒業以来始めて再会した旧友や後輩である49回生、61回生たちとの時間は大変貴重で楽しいものでした。この人を集める力こそが同窓会の魅

力かと思えます。本当に実行委員会のメンバー、それ以外にもご協力いただいた方々ありがとうございました。

末筆になりましたが多くの貴重な協賛広告を賜りました企業さま、地元の皆様、多くの同窓生の方々本当にありがとうございます。心より御礼申し上げます。また多くの助言やご協力をいただいた前実行委員長の田原康行先輩、常磐会事務局長の玉江俊樹先生、お世話になりました。来年、再来年と常磐会総会、懇親会が開催され、伝統は重みを増して100年後に京都高校が創立200周年を迎えたときにも盛大に開催されていることを期待して、本年度実行委員長のご挨拶とさせていただきます。



部活動活動状況

主な戦績

\*平成27年4月～28年1月までの期間での県大会以上

《体育部》

バスケットボール部

- 福岡県高等学校新人バスケットボール大会 男子県大会出場

陸上部

- 福岡県高等学校陸上競技対校選手権大会 県大会出場 11名
  - 男子4×100m (4名)、男子走高飛 (2名)
  - 男子三段跳 (1名)、男子砲丸投 (1名)
  - 男子やり投げ (1名)、男子八種 (2名)
- 九州大会出場 1名
  - 男子八種 (1名)
- 福岡県陸上競技国体選考会 県大会出場 5名
  - 男子走高跳 (3名)、男子三段跳 (1名)
  - 男子円盤投 (1名)
- 福岡県高等学校新人陸上競技対抗選手権大会 県大会出場 9名
  - 男子4×100m (4名)、男子走高跳 (2名)
  - 男子三段跳 (1名)、男子八種 (2名)

剣道部

- 福岡県高等学校剣道選手権大会 男子団体県大会出場

バドミントン部

- 福岡県高等学校バドミントン大会 男子団体県大会出場 ベスト16

卓球部

- 福岡県高等学校卓球大会 女子団体県大会出場 男子シングルス (1名) 県大会出場
- 国体選考会 男子シングルス (1名) 県大会出場 女子シングルス (2名) 県大会出場
- 全日本ジュニア北部予選 女子シングルス (1名) 県大会出場
- 福岡県高等学校新人卓球大会 女子団体県大会出場
- 高等学校選抜卓球大会 女子シングルス (1名) 県大会出場

サッカー部

- 福岡県高等学校新人サッカー大会 県大会出場

柔道部

- 福岡県高等学校柔道選手権大会 男子個人 (1名) 県大会出場
- 福岡県高等学校新人柔道大会 男子個人 (1名) 県大会出場

《文化部》

吹奏楽部

- 福岡県アンサンブルコンテスト 打楽器五重奏 県大会銀賞

放送部

- 福岡県高等学校総合文化祭放送コンテスト 朗読部門 (1名) 県大会出場

写真部

- 福岡県高等学校総合文化祭写真部門 県入選 (3名)

囲碁・将棋部

- 福岡県高等学校総合文化祭将棋部門 男子個人戦 (1名) 3位
- 福岡県高文連新人大会囲碁・将棋部門 女子個人戦 (1名) 5位

本校の昨年度の国公立大学の全体の合格者数はこの数年と変わらない人数だったものの、京都大学、東京工業大学、東京外国語大学、大阪大学などの難関大学に合格者が出ていくことが特徴です。

最後になりましたが、常磐会におかれましては、日頃より本校教育にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。今後とも引き続きご支援いただきますようお願いいたします。

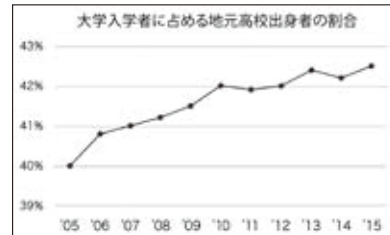
理系学部の人気が高く、文系学部の人気がない状態、いわゆる「理高文低」が近年続いています。理系学部の増加が目立ち、「文高理低」の傾向に転じています。一般に景気が悪いときには、就職に強い理系学部志願者が集まってくるので、「文高理低」は景気が良くなってきたりすることもあるといわれています。

大学入学者に占める地元高校出身者の割合は一昨年度は若干減少したものの昨年度は過去最高の割合になっています。また、あるデータという学生が六割を超えています。この背景には、新しい友人関係を作ることへの不安、少子化による親子関係の変化などがあるようです。また最近の報道では、奨学金返済の負担が大きく親元から通勤することもあるといわれています。

平成二十七年 進路概況 進路指導主事 仲江 聖吾

平成27年度国公立大学合格者数 (既卒生を含む)

大学	学部	人数	大学	学部	人数
東京外国語	言語文化	1	宮崎	工	4
	国際社会	1		農	1
東京工業	第6類	1	鹿児島	教育	1
京都	教育	1		理	1
大阪	外国語	1		工	2
岡山	医	1	農	1	
	薬	1	琉球	工	1
広島	経済	1	大阪府立	工学域	1
	工	4	経済	1	
山口	人文	1	兵庫県立	理	1
	経済	4	工	1	
	理	1	岡山県立	情報工	1
	工	5	県立広島	生命環境	1
九州	農	1	下関市立	経済	1
	法	1	北九州市立	外国語	1
	教育	1		文	4
医	2	法		7	
工	5	経済		8	
国際環境工	5				
九州工業	工	7	地域創生	1	
福岡教育	情報工	1	九州歯科	歯	1
	教育	4	福岡県立	人間社会	2
長崎	多文化社会	1	看護	1	
	医	1	長崎県立	経営	3
	薬	1	地域創造	1	
熊本	工	3	熊本県立	文	1
	文	3		環境共生	1
	教育	3	名桜	国際	1
大分	工	5			
	教育	1			
	経済	1			
	工	5			



平成27年度私立大学合格者数

大学	人数	大学	人数
福岡	88	神戸学院	2
西南学院	22	早稲田	2
西日本工業	20	徳山	2
九州産業	19	東京電機	2
福岡工業	16	筑紫女子園	2
立命館	14	安田女子	2
崇城	11	同志社女子	1
近畿	10	岡山商科	1
西南女学院	10	日本社会事業	1
福岡女学院	9	第一工業	1
札幌	8	大阪産業	1
関西学院	8	第一薬科	1
久留米	8	奈良	1
中村学園	7	松山	1
九州看護福祉	6	梅光学院	1
九州国際	6	広島工業	1
岡山理科	6	大阪工業	1
九州女子	5	神戸女子	1
関西外国語	5	立正	1
中央	5	長崎国際	1
純真学園	5	札幌学院	1
日本	5	鶴見	1
広島国際	4	洗足学園音楽	1
帝京	4	京都橘	1
九州栄養福祉	4	吉備国際	1
名城	3	国際医療福祉	1
山口東京理科	3	武蔵野音楽	1
東海	3	国際武道	1
同志社	3	大阪芸術	1
熊本保健科学	3	関西	1
九州共立	3	別府	1
産業医科	3	東京都市	1
創価	3	明治	1
大谷	3	東京理科	1
九州保健福祉	2	久留米工業	1
東亜	2	青山学院	1
日本文理	2	専修	1

上級学校合格状況・就職状況

平成27年度	現役	過年度	合計	
国立大学	68	12	80	
公立大学	39	5	44	
私立大学	343	38	381	
準大学 (防衛大学校等)	0	2	2	
国公立短大	0	0	0	
私立短大	5	1	6	
準短期大学	0	0	0	
各種学校	66	0	66	
事務	営業	技能	公務員	合計
0	0	1	9	10

まず、平成二十七年年度の生徒の進路状況をご紹介します。二十七年は、四年修了生が二十一名、三年修了生が一名、計二十二名の生徒が卒業しました。在学中からの仕事を継続している生徒もいますが、学校を通じての新規就職者が九名、進学者が五名でした。

次に、平成二十七年の特色ある行事・活動をご紹介します。

生活体験発表北九州地区大会は本校から、四年生一名、二年生一名が出場しました。今までの経験を発表し、努力賞を受賞しました。

文化部関係では、四月に行われた北九州芸術祭(書道部門)において、二名が特選、八名が入選となりました。また、行橋市人権週間啓発作品(書道の部)では、四名が入選となりました。高文連書道部門授賞作品展においても五名が入選しました。

体育関係では、六月に定時通信制制高陸上競技大会に二年生と一年生が出場しました。また、高体連定通部北ブロック卓球大会に出場した三年生が優勝し、県大会に出場しました。

本年度は、新入生二十七名を迎え、全校八十八名の生徒数でスタートしました。生徒たちは、仕事に勉学に全力で励んでいます。



恩師からのおたより1



三十六回生の思い出と近況

36回生3年5組担任

安藤 泰博 先生



三十六回生が京都高校に入学した時は私も赴任して六年目でした。京都高校は元気な先生方が多く、活気が

あり、生徒も毎日八時間、その後部活や居残り学習、土、日はテストや模試の明け暮れでした。被服科、商業科もあり生徒数も多く、部活では一緒に活動したので互いに切磋琢磨したのではないかと思います。高校は予備校ではないので勉強は勿論、学校行事や部活も可能な限りやらせよと先輩教師からよく言われ、もう二人とも亡くなられましたが、特に和田先生、金光先生には昼夜を問わずご指導いただきました。

もう三十数年前ですから毎日の授業を細かく覚えていませんが、天ヶ池越えの九重キャンプ、山で食べる薪で燻された飯盒の飯の美味しさは格別でした。また錦秋の黒部ダムを見学して東京までの修学旅行、(私にとってはバスの中が唯一の休める時間でしたが、夏は蝉の声と生徒の声援で暑かったクラスマッチと四校対抗競技会、文化祭では三年五組は「青春真つただ中」のビデオ制作だったと思います。体育大会は京都体操、最後のフオークダンスが印象的でした。そして三年間過ごした生徒とは別れの日となる卒業式等は記憶に焼き付いております。卒業生は一度しか高校生活はありませんが、我々教師は毎年卒業生を送り出しますので、前後の記憶がかなり怪しくなります。それでも授業や部活、行事等で関わった生徒は懐かしく思い出されます。その生徒諸君が今では社会を担って活躍していることを思うと感慨深い物があります。

私の方は京都高校を退職後、故郷の宮崎に帰る家族二人の介護をしています。掃除、洗濯はもちろん、食事の用意から買い物、それに毎日同じ物を食べさせるわけにはいけませんので、年寄り手が食べやすい料理等、本を見ながらなれない手で献立を考え作っていて、私の方が少しくたびれ気味になっています。

おまけに畑や樹木も多く、特に植物が伸びる時期は草刈りや垣根の剪定に追われていて、今になっては砂漠でもないのに何でこんなに木を植えたのか嘆いています。

真夏になるととつと大変で、南国の暑さの他にアシナガバチやスズメバチに悩まされ、以前、垣根を剪定していた時などはスズメバチの巣の上を刈ったものから垣根の中から大群が飛び出してきて剪定機も回ったまままぼっぽり出して逃げました。逃げたのは良かったのですが運悪くスイカの蔓が足に巻き付き、こけてしまいました。とつさに首に巻いていたタオルを振り回して防衛しましたが、その中の一匹が私の額に一撃を食らわせました。私は朦朧としながらみるみる顔が腫れ上がって、うーん駄目かなと思いつつながら納屋に置いてあった強力ムヒ?を取りに行き、たっぷり塗ったらどうにかことなきを得ました。以前にも刺されていたので冷や汗ものでした。

毎日がこのような生活で退職前に夢見た近くの浜の海釣り等にもまだ一度も行ってません。絵を描こうとアトリエも作ったのですが、辞めてからの方が家族の面倒を見るのが忙しくなり、筆も握れずこの先が案じられます。

最後になりましたが京都高校三十六回生の今後のご活躍と常磐会総会が成功裏に終わることを祈念します。

恩師からのおたより2



「負うた子に教えられ」

36回生3年3組担任

村上博彦 先生



のことと思います。

あの頃の皆さんは、本当に初々しく眩しく思われました。あれから三十年以上の歳月が流れてしまったのです。悪ガキだったあの人も今は立派に成長していることでしょうか。アルバムを見てみると、「チャイムが鳴って、がぜんはりきる日君」とありました。毎時間のように授業を延長してしまい、皆さんには申し訳ないことをしたと思っております。

私は退職してから三年間、講師として京都高校に居座り、その後他校にも数年間お世話になりましたが、教員はやっぱり現職が楽しいですね。生徒の皆さんと笑ったり、泣いたり、怒ったりしていた頃を懐かしく思い出します。

学校の講師を辞めてから、地域の方から「源氏物語」の講師を頼まれ、冷や汗をかきながら講師を努めています。教壇に立っていた頃と変わらず、脱線ばかりの漫談で参加者を喜ばせたり、お叱りを受けたりしております。そんな時にもふと卒業生の皆さんの顔を思い出して、ひとりニヤリとしております。

最近、腰を痛めてある整形外科病院の先生に診て頂きましたが、その先生はなんと二組の村上忠誌君でした。初めて診察してもらったとき、彼は私のことを覚えていたらしく「京都高校の村上先生ですよ」と言われ、「は

い、そうです」と答えると、「イヤ、先生には古文でお世話になりました。文法で、く、し、き、けれ、〇とか、今でも覚えていますヨ」と。私はすかさず「何の役にも立たなかつたんではよ」と言うと、「ええ、まあ...」と苦笑いしていました。古典文法が役立つているのは、退職しても古文と付き合っている私くらいなものですよ。

しかし、私は今、教え子に治療をしてもらっているのです。教え子に身体のこと、健康のことを教えてもらっているのです。まさに「負うた子に教えられ」ているのです。

別の所でも教え子にお世話になることが結構あります。市役所にはたくさんのお教え子がいて、ずいぶんとお世話になっております。こんなことになるんだったら、現職の頃もつとちゃんとやっておけば良かったと反省して最後の祭りです。

「先生と言われるほどの馬鹿でなし」という古い諺があります。学校の先生は生徒ばかり相手にしているから偉そうにしている。世間知らずの一番は先生なのに。これが世間の教師に対する評価のようです。もつともつと謙虚にしなくてはと反省するばかりです。

最後になりましたが、京都高校の益々の発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



# 新世紀

母校と共に常磐会はさらなる100年へ



2016年（平成28年）京都高校は創立100年を迎えました。大正6年京都郡立京都高等女学校として創立。学制変更により昭和22年福岡県立京都高等学校として新生。現在に至るまで地域の多くの方々に支えられてきました。常磐会はこれからも地域のみなさま、恩師の方々に感謝しさらなる100年を目指し、ときはの心と伝統を未来へ繋ぎます。